

令和元年 9 月新見市議会定例会 9 月 2 日（月）

日程第 4 （市長の行政報告について）

市 長 行 政 報 告

本日、9 月市議会定例会を招集いたしましたところ、皆さま方にはご多用のところをご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

それでは、前回の市議会定例会以降の市政運営状況につきまして報告をさせていただきます。

時代も令和となり初めて迎えた夏は、超大型の台風第 10 号が本市を直撃する経路であったことから、事前に防災体制を整え災害発生に備えておりました。幸いにも昨年のような大規模な被害はありませんでしたが、いつどこで起こるか分からない災害への対応について、引き続き万全を期してまいりたいと考えております。

このような中、昨年は災害の影響等で実施が見送られた各種イベントも、市内各地で若い人たちが中心となって開催され、ふるさとに活気を呼んでいる様子を拝見いたしました。さらに、新見第一中学校が全国中学校ソフトボール大会で 14 年ぶり 2 度目の優勝を飾り、岡山県共生高等学校におかれましては e スポーツの全国大会で準優勝に輝かれるなど、全国レベルで優秀な成績を収められました。若い世代が躍動する姿は、多くの市民に元気と勇気を与え、本市の将来に心強さを感じるものであり、これからのさらなる活躍を期待しながらしっかりと応援してまいりたいと考えております。

次に、以前から要望がありました「法務局証明サービスセンター」につきましては、法務省を始め関係機関に働きかけを行っておりましたが、このたび、市役所本庁舎内に開設する運びとなりました。これまで、「法人の印鑑証明」や「登記事項証明書」の取得については、岡山地方法務局高梁支局まで出向く必要がありましたが、令和 2 年 1 月から市内で行える予定であり、事業者を始め市民の皆さまの負担軽減が図れるものと考えております。なお、この件につきましては、本定例会に関連予算を計上しております。

その他、市政に係る主要な事業の進捗状況などにつきましては、これまでと同様に、「第 2 次新見市総合振興計画」の基本目標等に沿って報告させていただきます。

まず、「あたたかい福祉のまち」についてであります。消費税率引上げに対する国の施策として実施する「プレミアム付商品券事業」につきましては、対象となる

本年度の市民税非課税の方へ、7月末に市民税に関するお知らせと併せて「プレミアム付商品券購入引換券交付申請書」を送付しております。申請書を提出いただいた方と3歳未満のお子さんがいらっしゃる世帯主の方には、9月下旬に購入引換券を送付し、10月1日から商品券の販売を開始いたします。

健康づくり支援策として平成29年度から実施している「にいき健康チャレンジポイント」につきましては、本年度、446人の申込みがあり、昨年度より36人増加となっております。今後も様々な健康づくり事業に参加いただくことで、健康寿命の延伸と医療費の抑制につなげてまいりたいと考えております。

児童福祉・子育て支援につきましては、10月から国の制度に基づいた幼児教育・保育の無償化が実施されます。3歳から5歳までの幼稚園、保育所、認定こども園などの利用料が無償化されることに伴い、本市独自の施策として全ての3歳から5歳までの副食費を無償化することとし、本定例会へ関連予算を計上しております。子育てや教育にかかる家庭の経済的負担の軽減と、少子化対策をより一層進めてまいります。

次に、「はばたく産業のまち」についてであります。グリーンミュージアム神郷温泉におきまして、約500人の市民の皆さまとともに植栽した多目的広場等の芝生がしっかりと根付き、美しいグラウンドへと生まれ変わりました。今後、各種団体に付加価値の高い天然芝をPRし、利用促進を図ってまいりたいと考えております。

また、8月5日から30日まで、東京浅草のレストラン「るるぶキッチンASAKUSAエキミセ」において、「新見A級グルメフェア2019 in 東京」を開催いたしました。これは、首都圏における本市特産品の販路開拓を目的として、A級食材を使ったメニューを約1か月間提供したもので、8日には首都圏のメディアを招いた「メディアレセプション」を実施し取材していただきました。27日にはホテルのシェフやバイヤーなどを招いた「メーカーズディナー」を実施し、食材提供者が直接PRいたしました。今後の首都圏における本市特産品の販路開拓、さらには食を通じた関係人口の増加や観光振興につなげてまいりたいと考えております。

次に、「ゆたかな文化のまち」についてであります。「新見塩から子育成事業」につきましては、8月の夏休み期間を利用して実施いたしました。7日・8日には旧田治部小学校・大佐ダム等で34人が、9日には本郷小学校や周辺施設において31人が参加し、地域の特性を生かした活動を行いました。また、11日・12日の2日間、新見市青少年野外活動センター周辺において68人の参加により、野外体験活動や交流事業を行いました。この事業を通じて、子ども達が「ふるさと新見」の人や自然のすばらしさを再発見する良い機会となったものと考えております。

次に、「かいてきな環境のまち」についてであります。ＪＲ西日本株式会社が販売している特別キップ「吉備之国くまなくおでかけパス」が、本年４月から「みどりの券売機」又はインターネット販売のみの取扱いとなり、市民の皆さまから「購入が不便になった」との声を多く頂いたことから、７月１０日にＪＲ西日本岡山支社を訪問し、ＪＲ新見駅への券売機の設置要望を行ったところであります。

市指定のごみ袋につきましては、市民の皆さまから要望が多かった持ち手を付け、袋の色をプライバシー保護やカラスよけの効果を考慮した黄色に変更し、７月から順次店頭で販売しております。

本年度末に上水道と簡易水道の経営統合を予定している水道事業につきましては、７月９日に新見市水道事業運営審議会から健全な水道事業の運営について、答申いただきました。今後、この答申を基に料金の見直しなどについて、検討してまいります。

防災対策につきましては、指定避難所で防災拠点となる市民センターやふれあいセンターなどへ、備蓄品の配備や無線アクセスポイントの設置が完了し、災害時における避難所の運営体制の充実・強化を図っております。

次に「協働によるまちづくり」についてであります。７月２３日から８月２日にかけて、市内５会場で市政懇談会「市長とフリートーク」を開催し、私から「災害に強いまちづくり」、「新見市版地域共生社会のまちづくり」、そして、現在策定を進めております、新たなまちづくりに向けた「総合計画」について、その概要をご説明し、参加者の皆さまとまちづくりについて意見交換を行いました。

８月２６日には、新見市地域審議会から、新たな「総合計画」についての提言を頂いており、皆さまからのご意見やご提案も参考にしながら、計画づくりを進めてまいりたいと考えております。

また、ＪＲ新見駅西エリア整備事業につきましては、事業主体となる民間事業者を選定するため、事業提案の公募を行ってりましたが、８月２９日の提案期限までに１者から提出がありました。今後、提案事業者からのプレゼンテーションの場を設け、提案内容の審査を行い、事業者を選定してまいります。

以上、市政運営の状況につきまして主なものをご報告いたしましたが、引き続き市政の推進にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。